

令和3年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ヴァヨツ・ゾル州3市町村児童福祉施設整備計画」 供与式の実施

令和4年12月9日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ヴァヨツ・ゾル州3市町村児童福祉施設整備計画」（供与限度額：83,597米ドル(9,028,476円)）の供与式が、本案件実施施設のひとつであるヴァヨツ・ゾル州ヴァイク町の児童福祉施設において行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、アララト・グリゴリヤン・ヴァヨツ・ゾル州知事、ムヒタル・マテヴォシヤン・ヴァイク町長、被供与団体よりルシネ・シモニヤン「児童発展財団」代表等が出席し、その他行政職員や同施設職員、同施設に通う子どもやその保護者らを含む関係者計約50名が参加しました。

本計画は、児童発展財団が運営するヴァヨツ・ゾル州の3つ児童福祉施設の屋内外に、運動療法を実施するための遊戯場を整備し、また屋内での運動療法を行う場所が整備されていない施設を拡張することにより、障害・貧困・家庭内暴力等の極めて困難な状況に置かれている子どもたちの健全な発達と社会的適応を促進し、もって同地域の教育・福祉水準の向上に寄与することを目的としています。本事業の実施により、州内にある3つの児童福祉施設に通う約300人の子どもが直接的に裨益します。



ヴァイク町児童福祉施設のテープカット



子どもたちの授業風景



整備されたアスレチックと施設外観



福島大使のスピーチ